



第 63 号
羽 昨 工 業 高 等 学 校
2023年3月2日



PTA 会 長
稲 岡 政 利

仲間が生涯の宝

卒業生の皆様、ご卒業おめでとう
ございます。保護者の皆様にも併せ
てお祝い申し上げます。また、校長
先生をはじめ、諸先生方、学校関係
者の皆様には、生徒たちを見守り、
全力でご指導頂きましたことを心か
ら感謝申し上げます。

例えば、入学当初から新型コロナ
ウイルス感染症拡大の影響により、
行動が制限され、これまでとは異なっ
た学校生活を送ってきました。しか
しながら、目まぐるしく変化する時
代の中で知恵を出し合い、仲間を思

いやる気持ちがより一層深まったの
ではないでしょうか。人生の岐路に
立った今、大きく活動範囲を広げ、
期待と不安が入り混じった旅立ち
の中、学校生活において培った対応
力をもって、精一杯自分の夢に向かっ
て突き進んでほしいです。

皆さんの活躍される姿が、これま
で関わって頂いた全ての方々の喜び
となるでしょう。また、これからの
人生において、くじけそうになった
時や困難に直面した時はどうか一人
で悩まず、大切な仲間を頼って下さ
い。友情は年と共に深くなり、一人
の友はどんな宝にも勝ります。卒業
しても仲間との絆を持ちつつづけて頂
ければ幸いです。

そして、母校を大切に想う気持ち
を忘れずにいて頂きたいと思えます。
このことも皆さんにとって大きな財
産となるでしょう。私自身も多くの
卒業生の方々に助けて頂きました。
この場を借りて心から感謝致します。
今、新しい社会へ一歩踏み出すに

あたり、感謝の心を忘れることなく、
また一つ成長した皆さんと会える日
を楽しみにしております。

結びに、保護者の皆様には日頃よ
りPTA活動にご理解とご協力を賜
り厚く御礼申し上げます。皆様の温
かな心遣いにPTA役員一同、大変
感謝しております。

また、私自身、羽昨工業高校卒業
生の一人として、母校のPTA会長
を経験できたことは誇りであり、財
産となりました。PTA活動を無事
にやり遂げることができたことは、
一重に関係各位の皆様のご協力があっ
ての事です。心から感謝申し上げます。
引き続きご支援ご協力の程、よ
ろしくお願い申し上げます。

創立六十周年記念事業

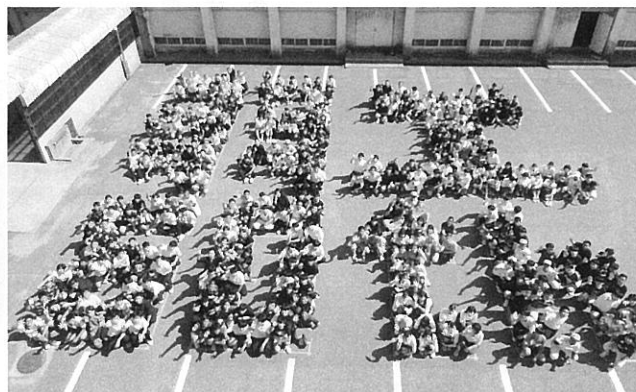
十月十五日(土)に本校の創立六十
周年記念式典がコスモアイル羽昨で
行われました。稲岡政利PTA会長
が副実行委員長として、前田牧子副
会長(母親委員長)が実行委員として
参列いたしました。

稲岡PTA会長は、次の記念事業
を披露しました。

- 一、「建学の精神」石碑建立
- 一、ランニングロード整備
- 一、十人乗りワンボックスカー寄贈
- 一、記念誌(近十年史)刊行



創立60周年記念式典



羽工60th人文字

創立60周年記念式典および記念演奏会・記念事業



記念式典



記念演奏会
羽咋「胡蝶華の会」アンサンブル



記念演奏会のフィナーレ
応援団が登場し、生徒有志により校歌が歌われた。



記念式典受付



記念品



記念事業
10人乗りワンボックスカー



記念事業
「建学の精神」石碑



記念事業
ランニングロード



校長 北野 浩和

課題研究とデザイン思考

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動の推進に多大なご協力と温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

卒業生の保護者の皆様におかれましては、お子様が三年間の高校生活を終え、晴れの門出を迎えられたことに心よりお祝いを申し上げます。三年前の入学式の翌日から約二カ月間の臨時休業がスタートし、六月からマスク着用など様々な感染症対策の制約の中でのご学校生活でした。そして、在校生は新年度に向けて、新三年生はいよいよ進路決定の学年に、新二年生は専門性にさらに磨きをかけ成果が一層求められる学年になります。

今年度も新型コロナウイルス感染が継続していますが、ウイズコロナで、殆どどの学校教育活動を色々と工夫しながら無事に行うことができました。一月末には、工業高校で学ぶ本校生徒にとって、その集大成と

なる「課題研究公開発表会」も無事に開催することができました。

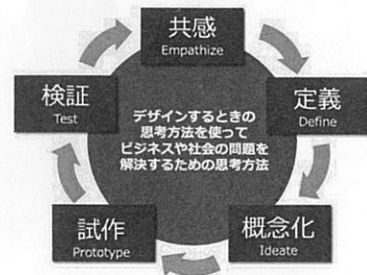
この「課題研究」は教科書がない科目で、自分たちで「答えのない課題」を見出し、その「本質」を見抜き、「課題を創造的に解決していく事」が求められます。この考え方は「デザイン思考」と密接な繋がりがあり、人間中心のアプローチ方法です。

スタンフォード大学のハッソ・プラットナー・デザイン研究所では、「デザイン思考」を実践する際には、以下五つのプロセスを踏んでいく必要があると提唱しています。

- ①共感(Empathize)ユーザーに寄り添い、対象者(物)への観察・調査や共感マップの作成などを通して、ユーザーの本当のニーズを理解する。
- ②定義(Define)ユーザーの求めていること、必要としている状況、それが生じる要因を分析し、課題を定義する。
- ③概念化(Ideate)ブレインストーミングを行い課題解決のためのアイデアを出せるだけ多く創出する。
- ④試作(Prototype)いくつかのアイデアのプロトタイプを制作する。
- ⑤検証(Test)試作したプロトタイプを実際に使ってもらい、「課題解決」されたかを検証する。

これらの順番は、必ずしも絶対的なものではなく、時には同時に、あるいは行ったり来たりしながら最善のやり方を見出して行きます。

最適な解決策を見つけ出すためのデザイン思考



https://blogs.co.jp/itsolutionjuku/2019/09/post_730.html

今、時代は大きな転換期を迎えています。世界が多様化し、新型コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵攻もあり、ますます不確実性の高まる時代になり、絶対の正解を見つけ出すことは容易なことではありません。「情報化社会」から「コンセプトチュアル社会※」になっています。それゆえ、「デザイン思考」で様々なアイデアを出し合い、多くの人が満足できる最適な解決策を見つけ出す力を身に付ける必要があるのです。

卒業後すぐに社会に出る生徒が多い本校では、この「課題研究」が「デザイン思考」という「工業高校での学び」を大切にしているのです。本校の学習指導方針に、「主体的・対話的で深い学び」を掲げていますが、これは文部科学省が「どのように学ぶか」を提示した学び方の視点でもあり、その実践にも繋がります。教員はこ

の視点での授業改善を進め、「デザイン思考」を意識した「課題研究」の取組に尽力していきたいと考えています。子ども達の将来のために、私たち教職員が一丸となって、四月からの学校での学びがより良いものになるよう努力するとともに、保護者の皆様や地域と連携し、「地域に貢献できる立派な人材の育成」を目指して参りたいと思います。

最後に、保護者の皆様の益々のご健康とご多幸をお祈り申し上げますとともに、今後より一層のご理解と温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

※既成概念にとらわれずに新しい視点から物事をとらえ、新しい意味づけを与えていくという社会

自転車乗車マナー一斉指導・グッドマナーキャンペーンに参加して

理事・母親委員 高田 洋子

九月二十日(火)～二十二日(木)にグッドマナーキャンペーンが行われました。

二十日の朝、校門前の横断歩道に立ちました。娘が小学生の時以来だったので、はたして高校生が挨拶なんてしてくるのだろうかと思っていました。いざ立ってみるとさすが羽工生！元気に挨拶してくれて気持ち良かったです。三十分程でしたが良い時間となりました。

第三回PTA役員会・ 母親委員会



自転車乗車マナー—斉指導・
グッドマナーキャンペーン

九月九日(金)十九時より第三回PTA役員会が本校視聴覚室において開催されました。それに続いて十九時三十分より母親委員会が開かれて羽工祭の模擬店について話し合いが行われました。母親委員会はポークキーマカレーを、父親の部はコーヒを販売することに決まりました。

さらに、母親委員会では、ポークキーマカレーのレシピや調理の事前準備のために、九月二十一日(水)十九時より臨時の準備会議を開いて、味付けや調理室の点検、当日の段取りについて話し合いました。



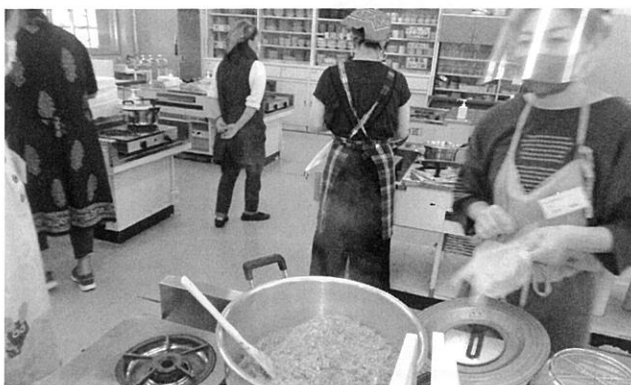
第3回PTA役員会

羽工祭



母親委員会

九月三十日(金)、十月一日(土)に羽工祭が開催されました。一日目は各クラスのステージ発表が行われました。二日目は生徒会企画や各クラスの模擬店が行われました。文化部の展示などの催しも同時に行われました。今年度も新型コロナウイルス感染防止のため、一般公開は行われませんが、三年生のみ同居家族が二名以内で参観し、PTA役員・理事の方々で模擬店が出されました。母親委員会はポークキーマカレーを、父親の部はコーヒを販売しました。



ポークキーマカレーのできあがり



家庭実習室にて調理

模擬店を終えて

副会長・母親委員長 前田 牧子

まず始めに、母親委員長としての重責でもありました模擬店が委員皆様の多大な御協力により無事終えることが出来、心より感謝申し上げます。

羽工祭母親委員会模擬店が三年振りに出せることになり、せっかく作るのなら手間を惜しまず美味しいカレーをと一致団結し、ポークキーマカレーを作るようになりました。母親委員の一人に料理に詳しいシエフが居てくださったお陰で隠し味に甘酒(アルコール分無し)を加える等、料理教室に参加しているかのような楽しい調理時間に感じました。

昨年度に引き続き規制のある中で羽工祭となりましたが、子ども達を見渡すと今しかない青春を心から楽しんでいっているように見受けられ、マスク下の表情は皆ニコヤカだったかと思えます。

最後に、先生方におかれましては日頃から未熟な子ども達に寄り添い親身に御指導いただきまして感謝の気持ちでいっぱいです。重ねて御礼申し上げます。

